

# 杏林

KYORIN DAIGAKU SHIMBUN

## 大学新聞

1-3面 新型コロナウイルス感染症への対応  
 自宅学習中の学生と保護者の皆様へ 学長 大瀧純一  
 学部長、学生支援センターからのメッセージ  
 「この時代に若者であること」 特任教授 金田一秀穂  
 学生支援関連のお知らせ

4面 2019年度卒業生の就職状況  
 大学の動き

私の挑戦  
 医学部 内田元さん  
 外国語学部 神宮葵さん・神宮楓さん

5面 看護専門学校卒業生メッセージ  
 根本康子さん、有江典子さん、野田耕介さん、  
 樋口由希恵さん

6面 健康ひとくちメモ  
 クラブ活動報告

# この経験を未来への力に

## 新型コロナウイルスへの対応と学生へのメッセージ

新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、本学は2020年度前期は原則としてキャンパスで授業は行わず、在宅でのオンラインによる遠隔授業（Zoom）を行うことにしました。学生の安全と健康を最優先に考えたものです。

杏林大学新聞23号では各学部の取り組みや授業・学生生活に関するお知らせなどをお伝えします。



### 前向きに夢を育んでほしい

自宅学習中の学生と保護者の皆様へ

おおたき じゅんいち  
 学長 **大瀧 純一**



#### キャンパスでの授業再開の日まで

新型コロナウイルスの影響で異例の前期スタートとなりました。特に新入生の皆さんは入学式の中止だけでなく授業は自宅での受講となり、期待していた大学生活とはだいぶ異なる状況に不安な日々を送られていることでしょう。保護者の皆様も同様なご心配をされていると

思います。このような社会状況下において、大学として今できることを精一杯行っておりますので、どうぞご理解いただきたいと思ひます。

本学でも当面は遠隔授業を含めた自宅での受講をお願いすることにしてはいますが、学生が同じ通信教育環境のもとで学習できるよう、必要な機器の貸し出しなど、通信環境の整備を進めています。また、部活動やアルバイトが難しい状況を踏まえ、学生の心身の健康、経済的支援にも取り組んでいます。先行きの不安はあると思いますが、現在の状況がこの先ずっと続くわけではありません。もう少しの間、辛抱いただきたいと思ひます。

#### 危機は大きなチャンス

かつて、ヨーロッパを中心にしたペ

ストの大流行は社会を大きく変え、その後のルネサンスにつながりました。感染症の猛威に直面した人類の危機は、医学の進歩や技術革新の契機になってきたことは歴史が示しています。いま私たちは同じ状況にありますが、この時期のキーワードは「デジタル化」でしょう。この危機を乗り越えることで、社会は医療や情報通信技術など各分野で大きな進歩を遂げることになると思ひます。

#### 家にいる時間を無駄にしない

外出が制限されているいま、私たちにできることは「自分で考える」ことです。良いアイデアや発見は、時間に余裕がある時に生まれると言われてています。有名な話ですが、アイザック・ニュートンが万有引力の着想を得たのは、ペストで大学が休校になり疎開をしていた時と伝えられています。

物事を考えるには基礎となる情報が必要です。情報を得る最も身近なものは新聞ではないでしょうか。スマートフォンのニュースは与えられた情報ですが、新

聞には世の中で起きている様々な事象が整理されて書かれています。読者は記事を取捨選択できます。社会で求められているものは何か、この時代をどう生きていくかを考えながら自分のペースで読むと、知らないうちに自分の考えがまとまり、今後の大きな指針となってきます。自ら新聞を手に取り、読むことが非常に大切です。今日から始めてみて下さい。

#### 学生の成長を見守る環境

杏林大学は、教員の目が一人ひとりの学生に十分届く、ちょうどよい規模の大学です。キャンパスでの授業再開時には、勉強や将来のことを友人や教員と語り合い、心の糧となるように日々充実した学生生活を送ってほしいと思ひます。

立ち止まらざるを得ない今回のような困難な状況を逆に一つの大きなチャンスと捉え、前向きにこれからの夢を育んでいく充電期間にしてください。



# 学生の皆さんへ

自宅での過ごし方や授業や学生生活に関すること、心や健康に関する悩みなどはありませんか？教員からのメッセージと、学生支援関連のお知らせを紹介します。  
大学からのお知らせは、ユニバーサルパスポートや大学ホームページでお伝えしていますので、ご確認ください。

## 経験を活かし良医に

医学部長 **渡邊 卓**

わたなべ たかし



医学部の学生諸君、今年度は、新型コロナウイルス感染症の蔓延により、年度始めから大学が休講となっ

てしまったばかりではなく、世界中、世界中で社会の動きが停滞するという異常な事態となっています。一日も早く、日常の生活が戻ることを願うばかりです。

このような状況の中で、先ず皆さん自身、このウイルスの感染から身を守るとともに、ウイルスの社会での拡散を最小限にとどめるための努力をしてください。その上で、大学が通常の活動に戻るまでの間、皆さんには学習面をはじめとして大変なご不便をおかけすることになりますが、大学からの指示に従って、今できることに全力を尽くして頂きたいと思ひます。

今回の新型コロナウイルス感染症の蔓延は、社会のあり方はもとより、医療や医学研究のあり方についても様々な問題を投げかけているように思ひます。特に、医師を志す皆さんにとって、今回の経験は、通常の大学生活では学ぶことのできない、極めて貴重な生きた経験となることと思ひます。感染の状況はもとより、それに伴う世の中の動きにも、しっかりと目を向けていてください。

最後になりましたが、一日も早く皆さんと三鷹キャンパスでお会いできることを、教職員一同、心待ちにしております。

## 苦境を乗り越えて

保健学部長 **岡島 康友**

おかじま やすとも



新型コロナウイルス禍で異常な新学期を迎えております。学生、特に新入生と保護者の皆様には心配と不安が大変、大きいことと思ひます。保健学部では教職員一丸となって、この難局に対応して参りました。学生にはユニバーサルパスポートを通じて、4月中は各科目に応じた課題学習を指示し、5月からはZoom（ズーム）を使った遠隔授業も開始いたしました。スマートフォンやパソコンを持たない学生には、後で授業を視聴できるように授業資料や動画を作成しています。

保健学部では実習が重視されますが、これに対しては文部科学省の指針に従い、登校が可能になってからの演習や学内実習で補充することとしました。

一方、学生アルバイト先の減少に加え、保護者の皆様には緊急事態宣言が家計へ大きく影響していることを痛く認識しております。これに対しては大学からの支援に加えて、教員の親睦会や同窓会にも支援をお願いしています。在学生には新しい学修スタイルのもと、この禍に負けないで日々の努力を続けてください。

卒業生、保護者の皆様には当学部のウイルス禍対応にご理解をいただき、今後ともご支援・ご協力をお願い申し上げます。

## 変わる時代に備えを

総合政策学部長 **北島 勉**

きたじま つとむ



皆さん、こんにちは。外出自粛要請が続いていますが、それぞれ創意工夫をして、元気に過ごしていることと思ひます。

5月からオンライン授業が開始されましたが、いかがでしょうか。授業に関する質問や感想などがあれば、積極的に担当教員とコミュニケーションを取って下さい。オンライン授業を皆さんにとって良い学びの機会とするために、積極的な参加を期待したいと思います。

新型コロナウイルスの感染拡大により、大変な状況が続いていますが、同時に私たちは、社会のしくみが大きく転換する時代の真っ只中にいるのだらうと思ひます。私たちはこれからもこのウイルスと共に生きていくことになると思ひます。それに伴い、私たちの学び方、働き方、遊び方、産業構造、ITとの関わり方、社会保障制度等々が大きく変わっていく可能性があります。是非、皆さんには、日本や海外で起こっていることをしっかりと見つけ、在学中にどんな力をつけるべきか、考え、行動に移してほしいと思ひます。

この時期にキャンパスが閑散としているのはとても残念です。早く皆さんとキャンパスで会えることを願っています。どうぞ身体に気をつけて過ごして下さい。

## リフレームのスキル

外国語学部長 **坂本 ロビン**

さかもと



英語には「リフレーム：reframe」という言葉があります。絵にフレーム（枠）を置くと、その絵への視点が生まれます。そして、フレームを変更すると、新しい見方で絵を見ることができ

ます。現在、私たちは自宅待機中ですが、今こそ新しい視点から物事を見てみる絶好の機会です。たとえば、私が新入生と初めてお会いするのは、いつも入学式のステージの上からでした。しかし、今年はメールやZoomなど全く別の方法で新入生にお会いしています。

授業も始まり、学生たちがこの環境で最善を尽くしていることに私はとても感銘を受けています。

皆さんと教室で直接、顔を合わせられないのは寂しいですが、ITを通じて新入生の皆さんや久しく会えないでいる在学生の皆さんの様子を知ることは嬉しくもあり、楽しいことです。私自身もこのように授業をreframeすることで新たな発見があるように思ひます。皆さんも不安な日々が続いてるかと思ひますが、このような状況でも少し見方を変えて、今何ができるか考えてみませんか。

この経験のおかげで、皆さんと直接お会いできる日が、より楽しみになりました。

## 学業継続のための学生支援

学生支援センター長 **望月 秀樹**

もちつき ひでき

保健学部作業療法学科教授  
保健学部学生部長



学生の皆さんは、このコロナ禍において、「いつ感染拡大が終息するのかかわからない」状況下で生じるストレスや先の見えない不安を抱え日々の生活を送って

いるものと思ひます。また、保護者の皆様も自粛生活を余儀なくされ、大変な思いをされていると拝察いたします。

そうした中で生じる大学生活における問題について、大学では以下のような対策、支援を行っています。

### オンラインやメールで学生相談

学生支援センターでは、Zoomを使用したオンラインでの学生相談や担任の先

生による個別面談を実施しています。

大学生活における悩みなどが生じたら一人で悩みを抱え込まず、皆さんに通知した専用メールアドレスで相談を申し込むか、担任の先生へ連絡してください。

### 経済的支援（授業料減免・遠隔授業支援等）

新型コロナウイルス関連で経済的に困窮した学生に対しては、授業料の減免、学納金延納願提出者の延納期限の延長、遠隔授業に必要な環境整備のための支援を行います。

大学新聞3ページで概要を紹介してい

ますが、詳細はユニバーサルパスポートや杏林大学ホームページでもお伝えします。

各種経済的支援に関する相談等は学生支援課におたずねください。

学生の皆さんが不安の中で孤立しないよう、また安心して大学生活を継続できるよう、対応してまいります。

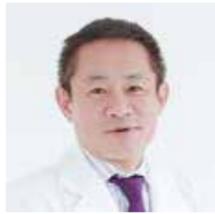


## 日常生活で心がけること

学生支援副センター長 **渡邊 衡一郎**

わたなべ こういちろう

医学部精神神経科学教授  
医学部学生部長



現在、新型コロナウイルス流行の影響で、皆さんは自宅待機や社会的距離の確保などを余儀なくされています。こうした慣れない生活スタイルにおいては、こころ穏やかに過ごすために役立つ“体内

時計”が乱れやすくなります。その結果、不眠や食欲低下、元気がなくなり辛い気分になるといった不快な心身の症状が生じてきます。

この“体内時計”を正常に保つために重要なことを右にまとめました。日常生活の中で心がけていただけたらと思ひます。

この未曾有の状況において、不安や恐れは誰もが持っているものです。家族や友人と共有し、その感情をひとりで抱え込まないようにしましょう。

また、テレビ番組を見過ぎず、ワイド

ショーではなく、信頼できるニュース番組を1つに限定しましょう。いろいろな番組を見て、アナウンサーやコメンテーター

ターのコメントに一喜一憂せずに。皆さんと元気に再会できる日が早く来ることを願っています。

### 体内時計を正常に保つポイント

- ☑ 昼寝は夜の深い睡眠を妨げるため、出来るだけ昼寝は避けましょう。必要ならば、30分以内に抑えましょう。
- ☑ 夜間にコンピュータやスマートフォンのディスプレイなど、ブルーライトを浴びることは避けましょう。ブルーライトは、睡眠に不可欠なメラトニンを減らすことがわかっています。

- ☑ 自分自身に合った起床と就寝の時間を決め、一貫してそのリズムを保つようにしましょう。もし、夜型だとしても、毎日同じ時間に起床し、同じ時間に床につくことがポイントです。

[国際双極性障害学会：時間生物学・時間療法タスクフォース、光療法・生物リズム学会の提言、日本語訳：宗末先生（東京歯科大学）]

## この時代に若者であること

杏林大学特任教授 金田一 秀穂

いつの時代でも、若者は未来への不安と希望、将来の無限の可能性と閉ざされた失意の間でさいなまされていた。今の時代に生きる若者は、とりわけきびしいかもしれない。地球の自然環境は後戻りできない変化を続けていて、次に何が失われ、何が生まれるのか、一切の予測がつかない。経済効率を何よりも優先させるAIが席卷していて、今まであった人間の入る余地が圧迫されている。地下迷路の実現形のようなのだ。この先が行き止まりでないと誰が言えようか。生活の緊張は高まる一方で、余命時間がとんでもなく長くなっていく。あと70年は困難な生をやりす

ごさなければならない。

そうしてコロナ禍。これは今までの生き方、暮らし方を否応なく変化させるだろう。

運が悪いことは確かだ。授業も正常に開かれず、友人を作ることさえままならない。経済的に逼迫する人も多いだろうが、動くことができない。

しかし、これは、悪いスタートではないのかもしれない。新しく生活を始めたばかりの人にとっては、これが初期状態なのだ。年寄りたちのような旧習にとらわれなくていい。リセットされている。残滓はない。コロナ後の世界を美しく作れるのは君たちかもしれない。

人はさまざまな経験を経ることで成長できる。多くを生きることが人間の生きる目的でもあると、ある哲学者が言った。どこまで豊かに生きられたかがその人の価値を決める。私たちは今人類にとって稀有な歴史的瞬間に立ち会っている。

いつか、君たちの子や孫が、この時代はどんなだったかを聞くことがあるだろう。その時にきちんと伝えられるように、今の世界を見ておいてほしい。自分で考え、自分で感じ、自分で伝えられるように。それはこれからの未来を生きなければならないあなたの重い使命でもあり、貴重な財産でもあるはずだ。



きんだいち ひでほ：1953年東京生まれ。東京外国語大学大学院修了。中国大連外国語学院、米イエール大学、コロンビア大学などで日本語講師。1988年より杏林大学外国語学部で教鞭をとる。2019年より杏林大学特任教授

## 新型コロナウイルス感染症の影響に関する学生支援

### 経済的支援・遠隔授業支援

学生支援課・総合情報センター

※6月1日現在の情報です。最新の情報は杏林大学ホームページ等でお知らせしますので、ご確認ください

#### [授業料減免申請]

新型コロナウイルス感染症の直接的・間接的な影響で家計が急変した世帯の学生に対して経済的支援を目的に授業料減免を行います。

【授業料減免額】20万円（100名程度）

【申請条件】（以下①および②の条件を満たす学生）

①新型コロナウイルスの感染拡大により家計を支えている方の収入減少があり、公的支援の受給証明書を提出できる方、②家計を支えている方の今年の年収見込み額が次に該当する方 / 給与所得者の場合、税込年収が841万円以下（例：会社員）、給与所得者以外の場合、所得が355万円以下（例：自営業者）

＜重要＞ 新型コロナウイルス感染症の影響により家計が急変した学生は、国の高等教育の修学支援新制度（給付奨学金と授業料減免が受けられる制度）に該当する可能性があります。高等教育の修学支援新制度の要件を満たし、対象となる学生はそちらを優先してお申込みください。

※奨学金・高等教育の修学支援新制度（給付奨学金）の詳細は大学ホームページをご覧ください。

#### [学納金納付期限の延長]

前期の学納金納付期限（延納願提出者）は通常7/15までですが8/31とします。

#### [遠隔授業等支援]

①遠隔授業の環境が整備できない学生に通信機能を持ったタブレットまたはWi-Fi機器（モバイルルーター）を前期授業期間中、貸し出します。

②通信環境の整備を目的に全ての学生に一律1万円を支給します。

授業料・学納金：学生支援課 / 遠隔授業：総合情報センター

### 海外留学・研修

国際交流センター

2020年度に予定していた秋学期の留学と夏期海外研修は、すべて中止します。来年春からの海外留学・研修は、今年夏の状況を見て判断します。実施を決定した場合は、9月に説明会を開催します。

なお、学生の皆さんの留学の準備等に活用いただいていた英語サロンとライティングセンターを、Zoomを使って開室します。

参加方法はユニバーサルパスポートを確認してください。

時間/曜日	月	火	水	木	金
10:00-11:00	●	●	■	■	●
13:00-14:00	●	●	●	●	●
15:00-16:00	●	■	■	■	●

開室曜日・時間（～7/22） ●英語サロン ■ライティングセンター

### WEB面談等で就職活動支援

キャリアサポートセンター

キャリアサポートセンターでは、WEBを利用した就職に関する面談を行っています。WEB面談は1回35分で、職員とカウンセラーがマンツーマンで対応しています。面接練習のほか、履歴書の添削等、学生の希望に応じて実施しています。

就職に関する相談はメールや電話でも対応しています。

#### キャリアサポートセンター面談件数

面談方法	4月	5月	総計
WEB	92	97	189
メール	12	31	43
電話	59	38	97
合計	163	166	329



### 新たな教育方法に注目を

総合情報センター長 糟谷 崇（総合政策学部准教授）

新型コロナウイルス感染拡大以前より、近年、新たな学習方法に注目が集まっています。MOOC（オンライン公開講座）、電子教科書などインターネットを通じて、新しい形の教育サービスが提供されています。大学が学びの最高学府であり続けるためにも、こうした新たな学びを取り入れていかなければなりません。

確かにこの状況では、一つひとつの授業では、できないことはたくさんあります。しかし、教室ではない学びだからこそ、身につけられるも



オンライン授業をする糟谷准教授。30名の学生が基本的なプログラミングを学んでいる

のもあるはずです。今は知識を蓄える時期だと捉えて、一生懸命に勉強することもひとつでしょう。こうした状況が終息した後、キャンパスでは、それをもとにしたディスカッションやグループワークなど、今までとは違った学びができるチャンスが待っています。

今回、杏林大学では、Zoomなどのアプリケーションを用いて、在宅でもこれまでと同じように授業が受けられることのできる手段について、議論しています。こうした動きは全学的な取り組みへと広がりを見せており、これまでの教育の良い部分と新たな教育とが融合して、今まで以上の教育が提供できるように努力してまいります。

皆さんも、今の時期だけを見るのではなく、学びは今後も続くのだということを心がけて、遠隔授業に参加してください。

### 健康状態の把握

井の頭保健センター・三鷹保健センター

#### 【井の頭保健センター】

毎年5月に実施する内科検診が中止となったため、保健学部、総合政策学部、外国語学部、大学院保健学研究科、国際協力研究科の学生・院生の健康状態をWEBで調査しました。

調査では、早急に対応を要する学生はいませんでした。新型コロナウイルスに関連した不安から体調不良を訴える学生がいました。そうした学生には、電話等で詳細を確認し、必要なアドバイスをしています。

登校できない日が延長される場合もあります。体調の異変や心配事は一人がかかえず、保健センターに相談、あるいは、ティーベック（大学連携相談室。連絡先はハンドブック2頁参照）に連絡してください。

#### 【三鷹保健センター】

医学部生の新型コロナウイルス感染症に関する相談や保健センターへの連絡方法についてはフローを作成し、メール等で学生にお知らせしています。大学での授業再開の日まで学生が健康に過ごせるよう対応してまいります。



井の頭保健センターが実施した調査の画面（一部）

## 就職率 前年度と並び過去2番目の高さに

キャリアサポートセンター長 **平石 富男**

2019年度の本学卒業生の就職率は、保健、総合政策、外国語の3学部合計で97.7%となり、前年度と並んで過去2番目に高い数字を記録しました。主な就職先については、学生の満足度をあげるために、隠れた優良企業を開拓するこれまでの方針に加えて、有名企業・人気企業にもチャレンジして就職支援にあたった結果、一定の成果が得られました。

これは学生に有利な売り手市場を背景に、井の頭キャンパス1期生である学生たちの頑張りに加えて、1年次から体系的なキャリア教育を実施したことにより学生の就職に対する意識とスキルが高まったこと、教職員が連携して就職を希望する学生は最後の一人まで面倒を見る

という活動が定着したことによるものと考えています。

しかしながら、現4年生の就職活動は、新型コロナウイルスの感染拡大により、企業の合同説明会や個別説明会が相次いで中止・延期されるなど異例の事態となっています。

キャリアサポートセンターでは、企業の採用活動の動向についての情報を学生にこまめに提供する一方で、WEBを利用した面談を実施するなどして支援にあたっています。今後も感染症の行方とこれに伴う企業の動きを注視しながら臨機応変に支援策を講じ、一人でも多くの学生が満足を得られるような就職の実現をめざしてゆきたいと考えています。

## 武蔵野市と包括的連携協定

杏林大学は2020年1月28日、武蔵野市と包括的連携協定を締結しました。本学は、これまで武蔵野市へ医療・保健、防災、学校教育などの分野で教員の派遣等を行ってきました。今後、教育や生涯学習、まちづくりに関することなどを連携して取り組んでいきます。



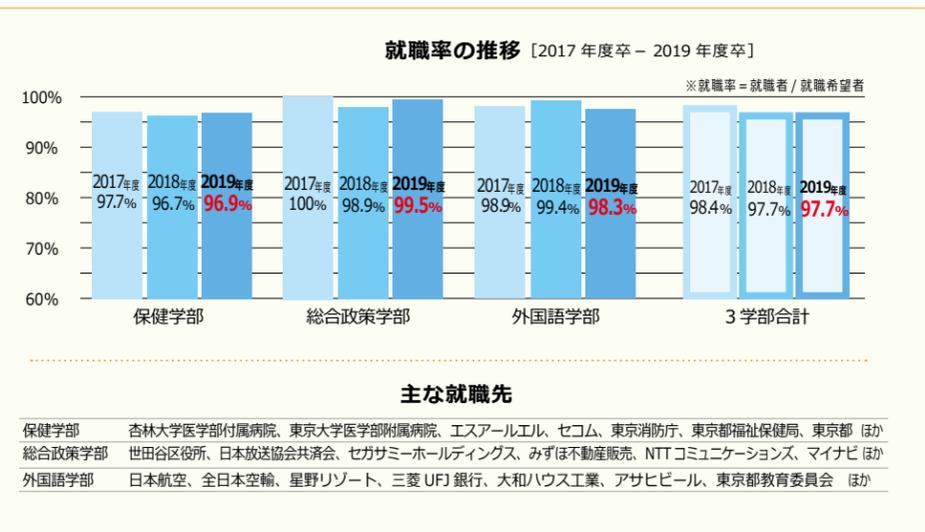
## 三菱地所レジデンス(株)と“まちの防災強化”

2月29日、杏林大学は三菱地所レジデンス株式会社と産学連携協定を締結しました。

東日本大震災の教訓を生かすために米國ポートランド州立大学と防災に関する共同フィールドワークを行っている本学と、防災を主軸としたまちづくりをすすめる三菱地所レジデンスは、互いの資源を



有効に活用して地域の防災に関する課題にアプローチしていきます。



## 医学部の教育が国際評価基準に認定



医学部は、国際的な評価基準（世界医学教育連盟（WFME））に基づいた医学教育の質の保証を目指し、新たな取り組みを進めています。2016年度入学生からは、臨床実習期間の延伸や実習内容の充実などの新カリキュラムを導入しています。

今年4月、日本医学教育評価機構による「医学教育分野別評価」の認定を受けました。

## 私の挑戦

クラブ・サークル活動の再開の日を心待ちにしている学生も多いことでしょう。ここでは、クラブ活動に、そして学生生活と両立しながらの学外活動に励む学生を紹介します。

## 選抜チーム主将として試合出場

医学部医学科5年 **内田 元**  
(2019年度関東医歯薬ラグビー選抜チーム主将)

### 杏林大から2人が選抜

第一期関東医歯薬ラグビー選抜チームの主将として大会に出場しました。

選抜メンバーは、関東医歯薬大学ラグビーフットボール連盟に加盟する31大学から選ばれます。前年度リーグ戦のパフォーマンスが優れていた選手が対象になるのですが、昨年度は杏林大学から、宮本昂亮君と共に選ばれ、私は主将の指名を受けました。

### vs 慶應と関東オールスター出場

選抜チームは昨年4月、慶應義塾體

育會蹴球部（体育会と呼ばれるチーム）と、6月には関東大学オールスターゲームで東邦大とそれぞれ対戦しました。

普段は対戦できないチームと戦った経験は、ラグビーへのモチベーションをさらに高めました。

ラグビーは連携プレーや判断能力が得点に結びつくスポーツです。私は主将として、各選手の特長や強みを活かしたチーム作りを目指しました。そのため、選手への目配りと観察を心がけました。また、指導陣の指示を選手に的確に伝え

る技術も磨くことができました。ここで得た経験や技術は、医師になっても大切にしていきたいです。

### ラグビーの魅力伝えたい

ラグビーは個々の役割から生まれるチームの多様性が試合で体現されるため、観る者を魅了するのだと思います。

ラグビーが好きな気持ちはもちろん、昨年、日本で開催されたワールドカップで盛り上がった人気をさらに推し進め、多くの人にラグビーの魅力を伝えたいと思っています。



## 三味線の音 世界に

外国語学部で学ぶ三味線姉妹ユニット

外国語学部中国語学科3年 **神宮 葵** 外国語学部英語学科2年 **神宮 楓**



姉の葵さん（左）と妹の楓さん

### 中国語と英語を学ぶ

姉の葵さんは、アジアの文化や芸術に興味があり、中国語を学んでもっとたくさんを知りたいと中国語学科に入学しました。楓さんは、外国の映画が好きで、英語がわかればより映画が楽しめると思い、英語学科を選びました。

二人は、浅草の花やしきなどで演奏活動をしています。外国の人から三味線や日本の音楽について質問されることもあり、「英語や中国語で、もっといろいろなことを伝えたい」と話します。そして、海外活動に挑戦したい夢も持っています。

### メジャーデビュー

祖母の勧めで、幼い頃から民謡と三味線を始めた二人は、花やしき少女歌劇団に入団。その後2009年にユニバーサルミュージックより『おじいちゃんおばあちゃんありがとう』でメジャーデビューします。東日本大震災の復興イベントや東京スカイツリー開業記念などでも歌と演奏を披露し、平尾昌晃氏のプロデュースでアルバムなどもリリースしています。

活動は楽しい、と話す葵さん。小さい頃は、友達と遊ぶ暇もないほど練習に打ち込んだそうです。一方、楓さんは、三味線を弾くことを友達にからかわれたことがあり、活動についてあまり周囲に話して来ませんでした。

### 大学生活も活動も

昨年、葵さんは上海外国語大学（中国）に留学しました。「留学先で二胡という伝統的な擦弦楽器や、演歌に似たジャンルの歌を間近で聞くことができました。こうした音楽の要素を私たちの演奏に取り入れても面白いと思った」と葵さんは言います。そんな姉について楓さんは、「活動を休止した時、初めて姉の存在の大きさを感じました。姉の話聞き、私も留学したいと思いました。留学先で三味線を直接、世界の人たちに聴いてもらいたい」と留学への希望を話しました。

「大学生活も演奏活動も、いまできることを、がんばりたい」二人は声をそろえました。

## 看護専門学校

## 卒業生それぞれの道で輝く

2020年3月、医学部附属看護専門学校は最後の卒業生92人が卒業しました。同校は1971年に開校し、多くの看護のプロフェッショナルを育ててきました。

現在、国内外で活躍している卒業生はおよそ4,000人。そのなかから、杏林大学医学

部附属病院看護部で卒業生初の看護部長となった根本康子さん、障がい児のデイサービスを行う有江典子さん、がん化学療法看護認定看護師の野田耕介さん、そして看護学校最後の卒業生、樋口由希恵さんの4人に話を伺いました。

## 卒業生初の付属病院看護部長

## 手術部で30年

私の看護師としての一歩は手術部から始まりました。当時は、30年近く手術部に居続けるとは思っていませんでした。

毎年多くの新人が配属され、手術部での私の経歴も長くなりました。何年か先、私はどんな看護師になりたいのだろう、と考えるようになりました。一方で、管理職として働くなかで、手術部の運用は病院経営に大きく関わることがわかってきました。

安全で効率的な手術室運用のためには、手術件数を分析したり、手術部の現状を客観的に把握したりする必要がありますと感じたことが大学院で本格的に経営を学ぶきっかけになりました。

## 大学院で別世界を体験

大学院での勉強は、興味深く、楽しいものでした。会社員や起業を考えている人など様々な人が学んでいて、その人たちと意見を交わすことで視野も人脈も広がりました。グループワークも多く、経営の知識だけでなく、発言力、傾聴力、実行力など仕事に活かせる力も身につきました。

## いきいき働ける職場に

私が看護管理者として一番大事にしているのは「公平性」です。1,400人近い看護師がそれぞれ力を十分発揮できるよう、公平性をもって対応しています。

一人ひとりの目標やライフステージに



根本康子 ねもと やすこ

杏林大学病院看護部長。看護専門学校10回生。手術部部長を経て2014年副看護部長就任。2015年より佼成病院看護部長として在籍。2013年国際医療福祉大学大学院医療経営学修士(h-MBA)取得

合わせて働きやすく、やりがいのある仕事ができるよう一層支援していきたいと思っています。

## 自分を信じて行動しよう

実は、将来について考え、杏林大学病院を辞めようと思ったことがあります。その時「いつでも帰っておいで」と言った母の言葉に心が軽くなりました。杏林でもう少し頑張ってみよう、と思えました。

その後、新しい手術室や電子カルテの立ち上げを任されたり、大学院への進学、他の病院へ出向したりとさまざまな環境に身を置き、たくさんの人と交流し学びました。

他人から与えられた機会に応える、自分がやりたいと思ったことを行動に移したからこそ、いまの私があると思っています。

## 退院した子どもと家族 地域で支える

## 障がい児の支援施設「らびい」

私はいま、杏林大学病院の近く、三鷹市新川で、重症心身障がい児のためのデイサービスらびいを開所しています。20人ほどが登録していて、週5日、一日につき5人のお子さんを受け入れています。スタッフは、保育士・児童指導員・看護師・理学療法士・作業療法士・心理士など18名。遊びやふれあいを通して、発達や障がいの程度にあわせた生活基本動作の訓練や指導を行い、それぞれが豊かな生活が送れるように支援しています。

## 退院後も安心して生活を

らびい開所のきっかけは杏林大学病院の小児科にいた時でした。病院での治療を終えても、医療ケアが必要なまま退院するお子さんがいます。そうしたお子さんや家族が、安心して暮らせるお手伝いをしたいと思ったのです。

## 第3希望まですべて“小児科”

看護学生の頃から、小児科で働きたいと思っていました。入職の際、第3希望まで書ける配属希望をすべて「小児科」と記入して、当時の看護部長に、あきれられたのを覚えています。どうしても小児科の看護師になりたかったのです。

## 小さな成長が活動の支え

開所の翌年、目が見えない、耳が聞こえない子どもが施設に来ました。そのお子さんは、感覚過敏があり、抱っこして



有江典子 ありえ のりこ

こどもデイサービスらびい看護師。看護専門学校5回生。杏林大学病院小児科病棟勤務を経て、2015年に「特定非営利活動法人どうぞ」設立。重症心身障がい児を対象にした「こどもデイサービスらびい」を開設

いる時以外はいつも泣いてしまいます。

そんな状態が1年近く続いたある夏の日、私たちはビニールプールで水遊びをしてみることにしました。水の中で、ゆっくり揺ると、気持ちよさそうな顔をしたのです。

揺れるのが好きかも!?と思った私たちは、次にブランコに挑戦しました。すると、声をあげて笑い出したのです。私たちもご家族も初めて見る笑顔に涙を流して喜びました。

この出来事は私たちにとって、大きな励みになりました。これからも、ご家族と一緒に子どもたちの成長を支えていきたいと思っています。

## 学校初の男性看護師

## まさかの1:99!?

祖父母が入院したときに、初めて看護師の存在を身近に感じました。医師にも患者や家族にも頼られる姿を間近で見て、看護師はすごい仕事だと思い、進路の一つとして考え始めました。

入学試験当日、会場には男子もちらほらいました。しかし、なんと入学したのは私だけ。100人のうち99人は女子でした。入学できたのは嬉しかったのですが、複雑でした。

## 前例ないのもまた楽しい

男子トイレは教室から遠い場所に一つしかなく、休み時間はトイレを往復するだけで終わることもありました。看護師も体力がいる仕事なので、振り返るといい運動だったと思えます。

清拭の実習は、男性事務職員のOさんに患者役をお願いして腕や体を拭かせてもらいました。Oさんは、実習のたびに声がかかるのでは、とハラハラしていたかもしれません。他にもいろいろな人に支えられ、22回生として卒業しました。男子卒業生第1号という誇らしい賞もいただきました。



すい臓がん撲滅キャンペーンイベントに参加する野田さん

野田耕介 のだ こうすけ

杏林大学病院3-3病棟看護師、がん化学療法看護認定看護師、看護専門学校22回生

## 患者さんの回復をサポート

男性看護師が特別扱われることはありませんが、女性看護師の支援を希望する患者さんは、遠慮なく伝えてほしいです。男性看護師はまだ少ないので、患者さんにすぐに名前を覚えてもらえるのは嬉しいのです。

今は血液内科病棟で働いています。継続的な治療が必要な患者さんも多いので、それぞれ望まれる生活を懸命にサポートしたいと思っています。

## 社会人入学生、最後の卒業生として巣立つ

## 人生変える選択に家族の応援

杏林大学病院小児科外来で2年間、受付業務をしていました。患者や家族を支える看護師に憧れ、看護専門学校に入学しました。私の選択を、家族は全面的に応援してくれました。

## 濃密な学生生活

同級生には私と同じ社会人経験を経た人がほかに5人いました。私たちは自然と固い絆で結ばれ、この春そろって卒業しました。

勉強は誰にも負けない気持ちがありましたが、家庭と学校の両立に、体力的に不安になったこともありました。

一番の思い出は戴帽式です。憧れのナースキャップをいただき、身の引き締まる思いがしました。式で唱えたナイチンゲール誓詞の一節「われは心より医師を助け、わが手に託された人々の幸のために身を捧(ささ)げん」を大切に、看護の道を歩みたいと思いました。

看護学校での最後の1年間は私たち43回生以外に学生はいませんでした。静かで、少し寂しい雰囲気でしたが、先生方が一丸となって手厚く私たちをサ



樋口由希恵 ひぐち ゆきえ

杏林大学病院3-6病棟看護師、看護専門学校43回生

ポートしてくださり、心から感謝の気持ちでいっぱいです。

国家試験が終わった日、社会人入学した仲間が集まりました。試験が終わった安堵感に浸ったのは初めのうちで、大半は終えたばかりの試験の採点になりました。

## 私らしく看護の道を歩む

4月から杏林大学病院で働いています。感謝と思いやりの気持ちを忘れず、目の前の患者さんのこれまでの人生を大切に思い、寄り添っていける看護師でありたいと思います。

健康ひとくちメモ ㊤

# 自粛生活と熱中症

持田 勇希 (もちだ ゆうき: 杏林大学病院救急科医師。専門は救急・集中治療、大動脈外科)

緊急事態宣言に伴う自粛生活が続く、新緑の心地よい気候を感じる間もなく梅雨の時期になりました。

室内に籠り「適温」の環境に慣れてしまうと、急激な気候の変化に身体が順応できず体調を崩してしまうこととなります。自宅にいながらも、定期的な換気などをして季節の移り変わりを感ずるよう心がけましょう。

東京の夏は「酷暑」などと表現され、ニュースでは毎日のように熱中症が取り上げられていました。それだけ熱

中症の知名度が上がり警鐘を鳴らしても罹患者は減らず、老若男女問わず死亡に至る危険度の高い病気です。

### どのようにして熱中症が起こるか？

熱中症は3つの要因から引き起こされます。①気温や湿度が高い、風通しが悪いなどの「環境」、②高齢者の方や持病のある方、寝不足などの「身体」、③運動や、水分摂取できない状況などの「行動」が要因となります。ですから、仮に生来健康で元気な若者も、高温多湿・無風の環境下で水分摂

取しないでいると容易に熱中症になり得るのです。

### 熱中症かな?と思ったら

熱中症は3つの重症度に分類されます。軽症であるⅠ度は気分不快などの症状から始まります。Ⅱ度へ進行すると頭痛や吐き気などが出現します。少しでも身体の不調を自覚したら、涼しい所へ避難し、身体を冷却し水分と塩分を補給しましょう。

### 新型コロナウイルス感染症と熱中症

熱中症の初期症状は新型コロナウイルス感染症の症状にも当てはまるため、実際に症状が認められた場合は不安になるでしょうし、医療機関も対応に追われ負担がかかる可能性があ



これからの季節、暑苦しさから一時的にマスクを外すこともあると思いますが、マスクを外したままの近距離での会話は控えましょう

ります。

何よりもまず予防が大切ですので、先述した熱中症の要因を避けるとともに、感染予防としてマスク着用や「3密」を避ける行動も継続し、今夏を乗り切りましょう。

## クラブ・サークル 井の頭キャンパス、三鷹キャンパスで活動するクラブ・サークルの2019年度の主な大会成績、活動記録



### 大会成績・活動記録

[井の頭キャンパス]

- サッカー部**
  - ▶東京都リーグ2分7敗
- ソフトテニス部**
  - ▶三鷹市団体戦4部2位▶調布市市民大会個人戦女子 優勝・準優勝、男子5位
- 硬式野球部**
  - ▶東京新大野球連盟秋季リーグ1部5位(ベストナイン 須藤誠太)
- ラグビー部**
  - ▶地区対抗関東リーグ戦1区2部3位
- アメリカンフットボール部**
  - ▶関東学生リーグ エリアリーグCブロック4位
- ハンドボール部**
  - ▶関東学生ハンドボール連盟春季リーグ 男子6部3位▶関東学生ハンドボール連盟秋季リーグ 男子6部3位
- 剣道部**
  - ▶関東学生剣道新人戦大会 ベスト32▶関東女子学生剣道新人戦大会出場▶都下大学剣道大会 男子2回戦敗退、女子初戦敗退
- 少林寺拳法部**
  - ▶関東新人大会 単独白帯・緑帯の部本選12位▶関東医歯薬ブロック大会 総合男子2位・女子1位、団体演武1位、組演男子新入会の部2位、組演女子新入会の部1位・3位、組演男子級拳士の部4位、組演男子有段の部2位、組演女子有段の部1位・6位、男子単独段外の部2位・6位、女子単独段外の部1位・2位、男子単独有段の部1位
- KHBC (バスケットボール)**
  - ▶MASH UP (学生バスケットボールサークルリーグ) 優勝・8位
- アプリコットBC (バドミントン)**
  - ▶三鷹市後期団体戦4部リーグ優勝・5位
- 硬式テニス部**
  - ▶関東理工学硬式庭球連盟リーグ男子10部1位(9部昇格)、女子7部3位
- 弓道部**
  - ▶前期四大戦団体2位、個人女子2位・3位、男子2位・新人賞
- ライフセービング部**
  - ▶第34回全日本学生選手権大会 男子総合7位、オーシャンマン1位(相澤虎大)、ビーチスプリント6位(保坂涼太)、サーフスキー男子8位(相澤虎大)、ビーチリレー男子7位、ビーチリレー女子8位、1km×3ビーチリレー女子8位、ボードレスキュー8位
- 陸上競技部**
  - ▶全関東医歯薬獣医科大学対抗陸上競技大会出場▶NISHI Athletic MEET2019 出場▶関東医科大学対抗陸上競技大会出場▶UPRUN 府中多摩川風の道マラソン大会出場
- アイスホッケー部**
  - ▶関東大学アイスホッケーリーグディビジョンV5位▶東日本医科学生総合体育大会Cプール5位
- ピンツィーズ (ソフトボール)**
  - ▶三鷹市ソフトボール連盟秋季大会 出場
- フットサル部**
  - ▶FUTSAL GAMES COSMO CUP 出場
- ポッチャ部**
  - ▶東日本大学選手権大会 優勝▶三鷹市アズマカップ優勝
- ダンス部**
  - ▶Slave night
- 吹奏楽団**
  - ▶東京都アンサンブルコンテスト 打楽器5重奏銅賞、木管6重奏銅賞▶秋川キララホールロビーコンサート▶第33回定期演奏会
- 社外軽音楽部**
  - ▶ミニライブ▶シャッフルライブ

- マンガ研究部**
  - ▶COMITIA130 参加▶ぷちまん1月号作成
- Street Trickers (マジッククラブ)**
  - ▶学生天国参加▶八王子いちよう祭り参加
- ボランティア団体 feel**
  - ▶MISHOP 国際交流ウォークラリー、国際交流フェスティバル参加
- 写真部**
  - ▶日本学生写真部連盟東日本地区新入生歓迎撮影会参加
- KELC (救急救命クラブ)**
  - ▶東日本学生救急救命技術選手権 出場
- ボランティア部**
  - ▶杏林大学病院小児科ボランティア
- 国際交流会**
  - ▶国際交流の集い(夏・冬)▶MISHOP 参加
- 華道部**
  - ▶アトレヴィ三鷹展示▶池坊東京花展、学生いけばなフェスティバル参加
- 井の頭管弦楽団**
  - ▶定期演奏会▶杏林大学病院内コンサート
- 杏林書道会**
  - ▶アトレヴィ三鷹展示▶第31回淡江社翰墨展 作品出展
- Asobi 基地**
  - ▶日暮里イベント、石巻市 asobi 基地、池袋東武イベントなどに参加

- [三鷹キャンパス]
- ボウリング部**
  - ▶春季関東医歯薬科リーグ団体2位 杏林A(一川、井上、半谷、渡邊)、個人優勝・新人賞(渡邊優輝)、リーグ戦 総合準優勝▶秋季関東医歯薬科リーグ個人優勝・ハイシリーズ受賞(吉田航大)、個人準優勝・ハイゲーム賞・新人賞(半谷和久)、団体3位 杏林A(秋山、木本、森、半谷)、リーグ戦 総合準優勝
- 剣道部**
  - ▶春季医療系大会 男子団体3位▶第62回秋季関東医歯薬獣医科大学大会 男子団体3位
- 軟式庭球部**
  - ▶関東医歯薬新人ソフトテニス選手権大会 準優勝(中村・田岡)
- バスケットボール部**
  - ▶秋季大会 決勝リーグ進出
- フットサル部**
  - ▶関東医歯薬フットサル秋大会 予選敗退
- サッカー部**
  - ▶関東医歯薬獣春季リーグ3位▶関東医歯薬獣秋季リーグ 決勝トーナメント3位リーグ1回戦敗退
- 硬式庭球部**
  - ▶関東医歯薬科リーグ 男子2部残留、女子2部降格
- 卓球部**
  - ▶春季関東医科学生卓球大会 準優勝▶秋季関東医科学生卓球大会 優勝▶新人戦 ダブルス優勝(齋藤彩美、江下景子)、シングルス準優勝(江下)、3位(齋藤)
- 水泳部**
  - ▶新人戦女子200mメドレーリレー6位、男子200mメドレーリレー5位、男子50mバタフライ4位(加藤大貴)・5位(千葉暉久)、女子50m背泳ぎ1位(片塩陽里)、男子50m背泳ぎ8位(織田優万)、男子200mフリーリレー6位、男子100m背泳ぎ6位(織田)、女子100m平泳ぎ5位(坂口未希子)、男子100m自由形4位(千葉)・7位(加藤)、女子100m自由形1位(片塩)、男女混合400mフリーリレー5位、新人賞(片塩)▶三鷹市市民大会男子一般200mメドレーリレー1位、女子一般200mメドレーリレー2位、男子一般100m個人メドレー2位(加藤)、女子一般100m個人メドレー1位(片塩)、男子一般50m背泳ぎ1位(加藤)・2位(伴光直人)、女子一般50m自由形1位(片塩)、男子一般50mバタフライ2位(千葉)、女子一般50mバタフライ3位(藤本柚菜)、男子一般200mフリーリレー1位、女子一般200mフリーリレー2位



部活動やサークルを紹介する冊子『KYORIN UNIVERSITY PALETTE 2020』



編集を終えて.....

- ・緊急事態宣言発令以降、誰もを経験したことのない人との接触を断られた日々を送られたことと思います。本号は、東京オリンピック・パラリンピックを特集する予定でしたが、内容を変更しお届けいたします。今後も新型コロナウイルスと共存するための新しい生活様式が求められます。まだまだこの状況の終わりは見えませんが、皆様が健やかな生活を送れますようお願いいたします。(望)
- ・「逆境が好き、それを乗り越えた先にある景色は絶対にいいはずだから」致命的なけがを乗り越えオリンピック2連覇を果たしたフィギュアスケート・羽生結弦選手の言葉です。新人生をはじめ学生の皆さんは親や先輩たちにはない厳しい体験をしました。新たな世代とも言える若者たちには、新鮮な発想でこの経験を将来に活かして欲しいと思います。ちなみに勉強好きの羽生選手は、当時から大学の授業をオンラインで受講していたそうです。(鳥)
- ・本来3月に発行する予定だった23号。本号より編集長は望月秀樹先生になりました。創刊から11年、初代編集長を務められた黒田有子先生には大変お世話になりました。毎回思い出に残る編集でした。(酒)